

恥ずかしくないこと

* ちょっと歌うつもり

中学生の時、私の一番好きなテレビ番組は何と言っても「星のカービィ」でした。何回もくりかえしました。時々英語吹き替え版が見つからなかったので、日本語のオリジナル版をみました。そこから、日本語のオープニングの歌を聞くようになりました。カービィの歌は二曲あり、その歌を聞いて以来、日本語の魅力に取り憑かれました。その時から、カービィの歌を歌ったり、自分で英語に翻訳したりするようになりました。

でも、両親やクラスメートの反応はつめたかったです。両親は「日本語？ どうして日本語なの？」と言いました。学校で、クラスメートに私の一番好きな曲が何かを話した時、「日本の音楽が好きなんて、変な人！」と言われました。両親やクラスメートにとって、日本の音楽は「変」でした。それ以来、「一番好きな曲は何ですか」という質問をされた時、私は恥ずかしくなってしまうようになりました。歌を歌う時も、一人でいる時に歌えば大丈夫と考えるようになりました。誰かがいる時は、すぐ歌うのをやめました。

高校生になってからのある日、偶然、日本の音楽が好きな人に出会いました。パソコンで日本の音楽を聞いている人を見かけて、とても驚きました。私がかげよったら、その人も驚きました。その人から「日本の音楽が好きなの？ 私もだよ！」という言葉がかえって来て、私はまた驚きました。他にも日本語が好きな学生がいたんです！ 他にもいるなんて、思ってもみませんでした！

その日は大事なことに気がつきました。それは、私の趣味は変じゃなかったということです。言語が違ったからといって、変ということは絶対ないです。日本語を習うことは恥ずかしくないです。だって、色々な国の文化や人について知ることができます。言語を習うことは新しい世界を見つけることです。